

令和4年度 精華高等学校 学校経営計画及び学校評価

1 本校がめざす学校像

- 1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導の充実と共に、基本的な生活習慣の確立、マナーの向上をめざす。
- 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。
- 4 各コースの教育内容の更なる充実を目指す。
- 5 特進選抜・総合コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 6 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。芸術・文化・スポーツ活動の盛んな高校をめざす。

2 中期目標（到達目標として）

- 1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。
- 2 本校強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部共に部活動の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 3 **NS** コース
高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的な生活習慣の確立をめざす。落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切に生徒の意識を育てる。各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養う。
- 4 **SA** コース
高校生活の基本的な生活習慣・考え方を身につけさせる。学習・部活動のともに頑張る生徒を育てる。各自自分をしっかり分析し、それぞれの将来像を描かせる。
- 5 **i-Tech・IT** 総合コース
基本的な生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。
さまざまな行事・活動を通して、協調性や社会性を身につけさせる。進路希望に対応できる、検定取得に重点を置く。情報社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざし、情報に関する全検定を取得させ、コースとして達成率 80%以上を確保する。
また、情報の専門性を更に高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。
- 6 **環境福祉** コース
高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につなげる。多様な個性の許容、他者を尊重する生徒を育てる。
- 7 **SG・特進選抜** コース
全学年において、確実な学力の担保を図り、本校における大学進学実績の向上をめざす。**SG** コースにおいては、多様なカリキュラムを通じて基礎学力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。特進選抜コース2年生は、大学進学を見据えた学習を行い、具体的には英検準2級全員合格を目標とする。特進選抜コース3年生は、全員が無遅刻無欠席で登校することをめざし、クラス全員の希望進路を確定させる。具体的には国公立および関関同立・4女子大学合格者4名以上の実現をめざす。
- 8 **スポーツ健康** コース
集団行動により、協調性の育成をめざす。また、時間厳守を意識させ、落ち着いた高校生活を送らせることを目標とする。さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させると共に、自らの健康の保持増進に努める。特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。
- 9 **特進総合** コース
学習意欲旺盛なクラス作りに努め、希望進路の実現に向けて最大限の努力をさせる。
将来の職業選択を見据えた、将来構想を明確にさせる。高校生としての自覚をしっかりと持たせ、教養を高めさせる。主体的に判断し、行動できる力を育む。
- 10 学校施設・設備の充実を図る。トイレの改装・洋式化に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。生徒の美化意識を高める。保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を行う。
- 11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。**SNS** 等による情報発信にも取り組んで行く。
- 12 教育改革会議において、引き続き本校教育の中身を検討すると共に、近い将来立ち上げる予定のフリーアカデミーコース（不登校生徒支援を目的とする）の授業内容を確定し、認可を得る。

【学校教育自己診断の結果と分析】

令和3年度の学校運営自己診断（令和4年2月実施 教職員自己評価アンケートをもとに）

◎ 教育内容

最新の設備を備えたEルーム（ICT教室）では、オンライン英会話をはじめ、新時代の授業が意欲的に行われている。全館ITC化の工事終了に伴い、時代の要請である教育のデジタル化を推進し、授業の改革を鋭意進めていく。令和4年度から始まる「新学習指導要領」に合わせて、新コースを立ち上げ、カリキュラムを一新した。新入生から一人一台のタブレットを持たせ、「主体的な学び」を積極的に推進するとともに、情報化社会における様々な情報活用能力を養って行く。

◎ 生徒指導・支援

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から理解され、評価されている。さらに期待に応えられるように努力する。ただし、時代の要請に合わせて、見直すべき点は柔軟に見直して行く。進路指導についても、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を堅持したい。ただ、進路の情報発信においては保護者の要望が強い。充実した進路情報の発信に努める。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。しかし、保護者の評価は高くない。更に工夫された、わかりやすい学習指導を行いたい。

◎ 教員研修・資質向上

教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。抜本的に見直す必要がある。また、専門的な知識はもちろん、一般教養についても、教員各自の自己研鑽を強く求める。

◎ 総合評価

学校協議会からの意見（令和3年11月 実施分）

出席者

堺市福田校区自治連合協議会会長 堺市西陶器校区自治連合協議会会長 堺市東陶器校区自治連合協議会会長
精華高等学校同窓会会長
精華高等学校校長 精華高等学校副校長 精華高等学校教頭 精華高等学校参与 精華高等学校事務長
精華高等学校教務部長 精華高等学校生徒指導部長代理 精華高等学校進路指導部長
精華高等学校ミドルリーダー（2名）

配付資料 令和3年度学校評価結果報告書、令和3年度学校経営計画および学校評価、保護者対象学校自己評価アンケート結果
令和4年度学校案内

上記の目標を達成するため、以下のことに取り組む。

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
<p>1 日々の授業を充実させる。</p> <p>2 特別強化クラブである吹奏楽部を中心に、強化クラブである硬式野球部・サッカー部・卓球部・剣道部・演劇部を中心に、部活動を活性化させ実績に結びつける。</p> <p>今年度から新たに女子バスケットボール部を強化クラブとして認定した。これらのクラブに対し、学園として金銭的な援助を行う。盛んな部活動を通じて地域社会に貢献して行く。</p>	<p>教員の授業に対する意識を高める。工夫されたわかりやすい授業を実践する。研究授業を充実させ、授業公開を増やす。</p> <p>本校教務内規成績評価における、注意点 30 点を 35 点に上げ、生徒の授業に対する意識を高めると共に、成績に対する生徒の危機感を高めるように指導する。</p> <p><u>学校自己評価「授業公開状況」「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」および各コースの教育内容に関する学校自己評価、また保護者評価「内容がわかりやすい充実した授業が多い」「生徒が興味・関心を持って取り組むことが出来るような授業が多い」「各コースにおける専門教科の授業内容は充実している」等を確認しながら評価する。</u></p> <p>部活動推薦生徒（専願）の本校入学者数を増やすため、優遇制度の拡充を更に行い、広報活動を強化する。オープンスクールの参加人数を増やし、部活動推薦生徒の入学生増加を図る。</p> <p>吹奏楽部・ボランティア部・演劇部等を中心に、地域社会に貢献する。</p> <p><u>学校自己評価における、「部活動」の項目並びに保護者評価「部活動は活発である」の項目において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u></p>		

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
<p>3 NS コース</p> <p>高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的な生活習慣の確立をめざす。落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にしている生徒の意識を育てる。各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養う。</p>	<p>入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。</p> <p>授業中・昼食時の巡回を実施する。各授業の準備、着席指導の徹底を図る。週1回のコース朝礼においては教員輪番で講話を行い、早朝学習（漢検ドリル）を実施する。</p> <p>教員間の連携を密にする。コース教員だけでなく、各教科担当者との連携により、強力な指導体制を構築する。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、NS コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>		
<p>4 SA コース</p> <p>高校生活の基本的な生活習慣・考え方を身につけさせる。学習・部活動のともに頑張る生徒を育てる。各自自分をしっかり分析し、それぞれの将来像を描かせる。</p>	<p>入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。</p> <p>授業中・昼食時の巡回を実施する。各授業の準備、着席指導の徹底を図る。週1回のコース朝礼においては教員輪番で講話を行い、早朝学習（漢検ドリル）を実施する。</p> <p>教員間の連携を密にする。コース教員だけでなく、各教科担当者との連携により、強力な指導体制を構築する。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SA コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>		

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
<p>5 i-Tech・IT 総合コース</p> <p>基本的な生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。さまざまな行事・活動を通して、協調性や社会性を身につけさせる。</p> <p>進路希望に対応できる、検定取得に重点を置く。情報社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざし、情報に関する全検定を取得させ、コースとして達成率 80%以上を確保する。また、情報の専門性を更に高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。</p>	<p>i-Tech コース (1年生) は入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。各家庭・保護者との連携を密に行い、生徒一人一人が自己管理を適切に行えるように指導し、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努める。</p> <p>コンピュータに関する基礎的な技術は、生徒全員が習得出来るようにし、検定取得率 100%をめざす。</p> <p>希望進路の実現に向けて、積極的に教員がアプローチする。生徒の情報をコースで共有し、組織的に対応できる体制を整える。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、NS コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>		
<p>6 環境福祉コース</p> <p>高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。</p> <p>コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につなげる。多様な個性の許容、他者を尊重する生徒を育てる</p>	<p>1年生は入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。各家庭・保護者との連絡を密に行い、欠席・遅刻を減らすように努める。</p> <p>希望進路の実現に向けて、生徒の情報をコース内で共有し、組織的に対応できる体制を整える。生徒と個別に話す時間を出来るだけ増やす。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、環境福祉コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>		

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
<p>7 SG・特進選抜コース</p> <p>全学年において、確実な学力の担保を図り、本校における大学進学実績の向上をめざす。</p> <p>SGコースにおいては、多様なカリキュラムを通じて基礎学力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。</p> <p>特進選抜コース2年生は、大学進学を見据えた学習を行い、具体的には英検準2級全員合格を目標とする。</p> <p>特進選抜コース3年生は、全員が無遅刻・無欠席で登校することをめざし、クラス全員の希望進路を確定させる。具体的には国公立および関関同立・4女子大学合格者4名以上の実現をめざす。</p>	<p>SGコース(1年生)は入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。</p> <p>放課後・長期休業中の受験講座・指導を充実させる。早朝学習・大学見学会・進路講演会・勉強合宿等を実施する。</p> <p>生徒募集対策室・広報を中心に、募集・広報の体制を強化し、SGコース入学生の増加を図る。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SGコース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>		
<p>8 スポーツ健康コース</p> <p>集団行動により、協調性の育成をめざす。また、時間厳守を意識させ、落ち着いた高校生活を送らせることを目標とする。</p> <p>さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させると共に、自らの健康の保持増進に努める。特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。</p>	<p>各家庭・保護者との連絡を密に行い、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努める。</p> <p>授業を集中して受ける習慣を身に付けさせる。</p> <p>教員間の連携を密に行い、コースの生徒のさまざまな情報を共有する環境を構築する。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、スポーツ健康コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>		

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
<p>9 特進総合コース</p> <p>学習意欲旺盛なクラス作りに努め、希望進路の実現に向けて最大限の努力をさせる。</p> <p>将来の職業選択を見据えた、将来構想を明確にさせる。高校生としての自覚をしっかりと持たせ、教養を高めさせる。</p> <p>主体的に判断し、行動できる力を育む。</p> <p>10 学校施設・設備の充実を図る。</p> <p>トイレの改装・洋式化に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。</p> <p>生徒の美化意識を高める。</p> <p>保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を行う。</p>	<p>2年生は自分の興味や関心を明確にし、将来の職業選択を見据え、何を学ぶか考えさせる。受験に対応する基礎力を養成する。</p> <p>3年生は受験に対応する実践力を養成する。進路に対する意識を高め、希望進路の実現を図る。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、特進総合コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p> <p>昨年に引き続き、新館2Fの女子生徒トイレ・教員トイレを改装し洋式化する。</p> <p>講話や清掃指導により、生徒の美化意識を高める。</p> <p>食堂の抜本的な改革のために、業者の選定に入る。</p> <p><u>学校自己評価における、「環境教育」の項目並びに、保護者評価「学校の設備・備品は、学習環境の面においてほぼ満足できるものである」「教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている」「学校内は、清掃が行き届いていて、清潔である」の3項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</u></p>		

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
<p>11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実に図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。</p> <p>SNS 等による情報発信にも取り組んで行く。</p> <p>12 教育改革会議において、引き続き本校教育の中身を検討すると共に、近い将来立ち上げる予定のフリーアカデミーコース(不登校生徒支援を目的とする)の教育内容を確定し、認可を得る。</p>	<p>学校広報を強化し、本校のイメージアップを図る。</p> <p>新コースに合わせホームページを一新し、情報発信を更に充実させる。</p> <p>本校の斬新な広報を継続する。SNS 等による情報発信を行う。</p> <p><u>保護者評価「学校のホームページは充実している」において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u></p> <p>全館 ICT 化に伴い、アクティブラーニングを推進する。</p> <p>E ルーム (ICT 教室) の更なる活用を進める。</p> <p>新入生一人一人にタブレットを持たせ、新しい教育に挑戦していく。</p> <p>フリーアカデミーコースの教育内容を確定し、生徒募集の戦略を練る。</p> <p><u>学校自己評価を参考に、実施状況を評価する。</u></p>		